

入間野小学校だより新春号

平成29年1月16日(月)

狭山市北入曽 980 TEL 04-2958-2718

あいさつ・歌声・考えを出し合う声が響く、きれいな学校

発行責任者校長 小俣 恵美子

「いるまの」「仲よくする子考える子やりぬく子」の育成



後期学校評価の結果から、 「学校運営改善施策」立案

これまで、7月に実施した学校評価と児童・保護者前期アンケート結果を分析し、検討して立案した、下記の「後期学校運営改善施策」に入間野小学校の全教職員が一丸となって取り組んできました。

- 【1】届く声で話せる児童を育成する
- 【2】丁寧な文字を書くことができる児童を育成する。
- 【3】学級が楽しいと思えるような学級をつくる。
- 【4】「家庭学習の手引き」利用し、家庭学習を習慣化できるようにする。

その結果、どのような成果と課題が見られるのか、後期学校評価を12月に実施し、教職員の自己評価と共に、児童・保護者アンケートを実施しました。今回91%の回収率となりました。ご多用にもかかわらず、皆様のご理解とご協力をいただき、あらためて感謝申し上げます。前期と同様、この結果を分析し、今後の学校運営改善施策を立案しました。後期学校評価の結果は、裏面をご覧ください。概要は、以下の通りです。

後期学校評価の結果の概要

【教職員の自己評価】では、

○日頃の授業の充実のために、研修や教材研究等、熱心に取り組み、その成果が学力向上につながっている。

学力向上策として実施した「教育に関する3つの達成目標効果の検証」の結果は、いかがでしたでしょうか。基礎的・基本的な「読む・書く」「計算」のテスト内容となっています。誤答は、理解させてから返却するようにしていますが、当該学年の学習の復習として、家庭学習の内容に、ぜひ、ご活用ください。

○教育活動に対する取り組みが、全校で共通理解され、共有化されており、一貫した指導方針の下に実践され、児童の落ち着いた生活態度等に表れてきている。

●体力は向上しているが、更に効果的な朝マラソンにする工夫が必要である。

●「みんなのために」を考え、行動できる児童を育成するために、学級活動の適切な指導を行う必要がある。

●「家庭学習の手引き」を利用し、家庭学習の習慣化の指導を、継続して行う。

【保護者の方のアンケート】からは、

○「学校は、体力向上のための環境整備に取り組んでいる」の項目のポイントが上昇しました。

【児童のアンケート】からは、自分に対する自己評価を前期より厳しくつける傾向が見られました。学年・学級によりばらつきは見られますが、項目を取り挙げて全校で課題とする事柄はありませんでした。

入間野小学校平成 28 年度後期学校評価

*a (4点) b (3点) c (2点) d (1点) として点数化

*3.4 点以上は A 2.8 点以上～3.4 点未満は B 2.8 点未満は C

*前期と比較し、〇〇は-2ポイント、〇〇は +2ポイントを表示しています。



NO	項 目	教職員	児童	保護者
1	児童は、相手に届く声で話している。	B 2.9	B 3.2	B 3.3
2	児童は、文字を丁寧に書いている。	B 2.9	B 2.9	B 2.8
3	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B 2.9	B 3.0	B 2.9
4	児童は、自分から目を見て挨拶をしている。	B 2.9	B 3.3	B 3.0
5	児童は、丁寧な言葉づかいをしている。	B 3.1	B 3.3	B 2.9
6	児童は、集団のために活動に取り組んでいる。	B 2.9	B 3.1	B 3.3
7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B 3.0	A 3.4	B 3.2
8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B 3.1	A 3.5	B 3.2
9	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている。	B 3.1	A 3.7	B 3.1
10	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身につけさせている。	B 3.2	A 3.7	A 3.4
11	学校は、自ら考える力をつけている。	B 2.9	A 3.5	B 3.1
12	学校は、安心して過ごせるあたたかな学級をつくっている。	B 3.1	B 3.1	B 3.3
13	学校は、規律ある態度を身につけさせている。	A 3.6	A 3.4	B 3.3
14	先生は、困ったときに相談に乗ってくれる。	B 3.3	A 3.5	A 3.4
15	学校は、体力を向上させるための環境づくりに取り組んでいる。	B 3.1	A 3.6	A 3.5
16	家庭では、健康診断の結果を子供たちの健康管理に生かしている。	B 3.1	B 3.1	B 3.3
17	学校は、美しい環境を保持している。	B 3.1	B 3.3	B 3.3
18	学校は、教育活動を充実させるため、地域や保護者の支援を生かしている。	B 3.2	A 3.7	A 3.4
19	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切にしている。	A 3.5	※以下は、教職員の自己評価結果をお知らせしています。	A 3.6
20	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B 3.1		
21	職員は、校内研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めた。	B 3.3		
22	職員は、報告、連絡、相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	A 3.4		

来年度へ向けた教育活動改善施策

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。3学期はじめに、下記の「来年度へ向けた教育活動改善施策」を立案しました。

【1】朝マラソンの取り組み方について、下記のとおり変更する。

- ①登校後、準備ができ次第、準備運動して、自由に走る。
- ②8:15には、全児童が校庭をマラソンしている状態とし、バトンゾーンは、ダッシュする。
- ③8:18に音楽が鳴り終わったら、自分の昇降口までマラソンをし続けて、入室する。

【2】学級活動の指導を充実する。

①提案の仕方 ②計画委員の指導 ③折り合いのつけ方 ④時間を意識した話し合い

【3】各学年の課題に取り組む。

1年 友達づきあい 2年 丁寧な文字と折り合いのつけ方 3年 丁寧な文字
4年 家庭学習 5年 みんなのために行動すること、生活リズム 6年 丁寧な文字と家庭学習

※教員の定数は限られていますが、穏やかな学級で個別指導ができるよう、更に配置を工夫していきます。